



幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

教職員向け研修資料

# 架け橋期のぎふっこの学びとくらし



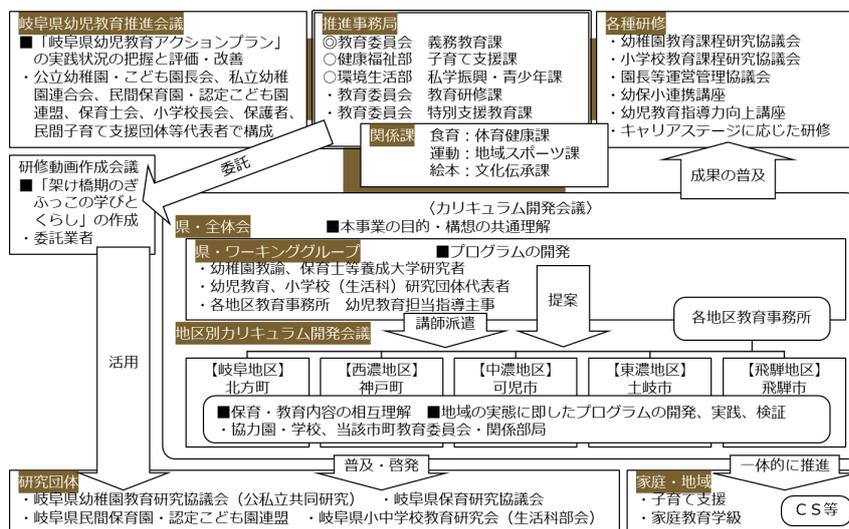
令和6年3月

岐阜県教育委員会

## はじめに

岐阜県では、令和4年3月に、「岐阜県幼児教育アクションプラン」を改訂し、基本方針を「『つなぐ・高める・支える』幼児教育の推進」としました。そして、アクションプランに示した施策を具現するため、令和4年度から、文部科学省の「幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業」を受託し、図のように組織を整え、幼保小の連携・協働による「つなぐ・高める・支える」架け橋プログラムの開発・実践に取り組んでいます。

本資料は、令和5年度末までの研究成果として、県カリキュラム開発会議で作成した「接続期カリキュラム開発サポートシート」及び、地区別カリキュラム開発会議で開発した「接続期カリキュラム」等をまとめたものです。同時に制作した教職員向け研修動画（DVD）には、解説や実践の具体を収録しているため、併用することが効果的です。



【組織図】

## 目次

### 〈接続期カリキュラム開発サポートシート〉

- ・ 「接続期カリキュラム開発サポートシート」作成の経緯と構成 ..... 2
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：健康 ..... 3
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：人間関係 ..... 4
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：環境 ..... 5
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：言葉 ..... 6
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：表現 ..... 7
- ・ 接続期カリキュラム開発サポートシート：特別な支援 ..... 8

### 〈接続期カリキュラム等〉

- ・ 「架け橋期のカリキュラム」について ..... 9
- ・ 「たくましい北方の子」を育てる15年間カリキュラムマップ（北方町） ..... 10
- ・ 子どもの「育ちと学び」を円滑に接続するためのカリキュラム（北方町） ..... 11
- ・ 接続期カリキュラム～「運動遊び」を軸として～（神戸町） ..... 12
- ・ 可児市「笑顔の“もと”」接続期カリキュラム（可児市） ..... 13
- ・ 子どもの育ちと学びをつなぐ「接続期マップ」～「言葉による伝え合い」を重点として～（土岐市） ..... 14
- ・ 子どもの育ちと学びをつなぐ「連携のあしあと」（土岐市） ..... 15
- ・ 開発の手順と解説（土岐市） ..... 16
- ・ 飛騨市版アプローチ・スタートカリキュラム（飛騨市） ..... 17

# 「接続期カリキュラム開発サポートシート」作成の経緯と構成

## 1 作成の経緯

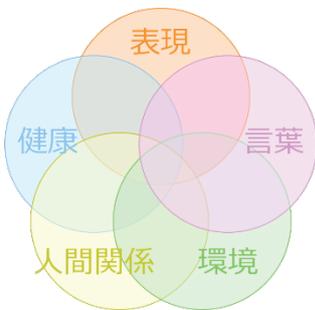
岐阜県では、「幼保小の架け橋プログラム」の取組を通して、各地区（園・学校）の実態や「共に育みたい幼児・児童像」に即した、独自性のある「～市町村版（～園・～学校版）接続期カリキュラム」の開発を推進しています。

そこで、県カリキュラム開発会議においては、各市町村（園・学校）が、接続期カリキュラムを開発し、見直すに当たり、「目的と手立てが混在していないか」や「必要事項が網羅されているか」、「幼児教育の特性が担保されているか」等を確認したり、幼稚園教育要領等解説の関係箇所立ち返ったりすることができるサポートシートを作成しました。次に述べられる構成の意図を踏まえて、積極的に御活用ください。

## 2 構成

本シートは、5領域+特別な支援の6枚から成り、1枚1枚は【例】に示す構成となっています。

資質・能力の3つの柱、5領域、10の姿の関係性を図式化して明らかにし、背景に示した。資質・能力は、遊びや生活を通した総合的な指導の中で一体的に育むよう努めることが重要である。



各領域等と“主に”関わりのある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示した。幼稚園教育要領等解説に例示されている項目は緑色、岐阜県の実態も踏まえ、関わらせて指導することが期待されたり、特に相乗的に育まれていくと考えられる項目は黄緑色で囲んだ。

各市町村（園・学校）においては、まず、「共に育みたい幼児・児童像」等を10の姿から分析し、資質・能力に係る視点を明らかにすることが考えられる。

5歳児の「共に育みたい幼児・児童像」は、各領域のねらい（育みたい資質・能力を幼児の生活する姿から捉えたもの）の3点に即して設定し、当該領域に関わって資質・能力が育まれた姿を、偏りなく網羅できるようにした。

各領域の趣旨を理解し、幼児の発達を踏まえた適切な指導が行われるようにする。

接続期カリキュラム開発サポートシート

### 健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

	5歳児	1年生
幼児・共に育みたい幼児像	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう子</li> <li>② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする子</li> <li>③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをもって行動する子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 目標や願いをもって伸び伸びと行動する子</li> <li>⑤ 運動遊びに親しみ、休み時間等に他の児童と一緒に楽しく過ごす子</li> <li>⑥ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、自他の体を大切にすること</li> <li>⑦ 生活の流れを理解し、見通しをもって行動する子</li> </ul>
指導上の配慮・関わり方等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安定した情緒の下で、自分のやりたいことに向かって伸び伸びと取り組むことができるよう、時間・空間・仲間を意識した環境を構成し、一人一人の状況に応じて、一緒に活動したり声をかけたり見守ったりする。①②</li> <li>○ 戸外の活動を楽しみ、十分に体を動かすことができるよう、アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)の運動遊び(体を使った遊び)や休まず遊び(押し競べ頭、連発さんが転んだ等、昔から親しまれてきた遊び)を紹介し実践する。①②</li> <li>○ 基本的な生活行動(食事、清潔行動、整理整頓等)を身に付け、進んで取り組むことができるよう、生活の流れの中で必要性に気付いたり気持ちよさを感じたりできるように援助し、自立を促す。①③</li> <li>○ 安全に気をつけた遊びや行動ができるよう、過保護や過介入に留意しながら、危険やその回避方法についてその場で知らせたり(気付かせたり)する。③</li> <li>○ 上記について情報共有し、家庭でも実行するよう保護者に促す。②③</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一人の目標や願いを把握し、状況に応じて、声をかけたり周りの児童に働きかけたりする。④⑤</li> <li>○ 主体的に遊びを創り出すことができるよう、定期的に集団遊びの機会を設け、ACPを紹介したり誰もが楽しめる作戦を考えるよう促したりする。④⑤</li> <li>○ 基本的な生活行動が病気や怪我の予防につながることを、学級活動や給食、日常生活の中で機会を捉えて指導し、体を大切にすることを育む。⑥⑦</li> <li>○ 時間割に慣れることができるよう、「次は」(いつまでに)を丁寧に確認し、板書や掲示で示す。⑥⑦</li> <li>○ 上記について情報共有し、家庭でも実行することで習慣化を図るよう保護者に促す。④⑤⑥⑦</li> </ul>

### 【例】

「指導上の配慮」の最後の項目は、家庭に対して、園・学校が働きかけたり、配慮したりするとよいことを例示した。園・学校と家庭が、互いに幼児・児童の望ましい発達を促すための生活を実現していくことが大切である。

# 健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を  
つくり出す力を養う。



## 5 歳児

- ① 明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう子  
② 自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする子  
③ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しをも  
って行動する子

共に育みたい  
幼児・児童像

- 安定した情緒の下で、自分のやりたいことに向かって伸び伸びと取り組むことができるよう、時間・空間・仲間を意識した環境を構成し、一人一人の状況に応じて、一緒に活動したり声をかけたり見守ったりする。①②
- 戸外の活動を楽しみ、十分に体を動かすことができるよう、アクティブ・チャイルド・プログラム(ACP)の運動遊び(体を使った遊び)や伝承遊び(押し競べ頭、達磨さんが転んだ等、昔から親しまれてきた遊び)を紹介し実践する。①②
- 基本的な生活行動(食事、清潔行動、整理整頓等)を身に付け、進んで取り組むことができるよう、生活の流れの中で必要性に気付いたり気持ちよさを感じたりできるように援助し、自立を促す。①③
- 安全に気を付けた遊びや行動ができるよう、過保護や過介入に留意しながら、危険やその回避方法についてその場で知らせた(質問かけさせた)りする。③
- 上記について情報共有し、家庭でも実行するよう保護者に促す。①②③

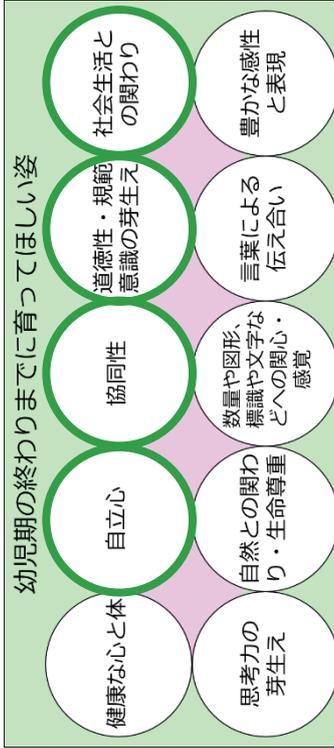
環境の  
指導上の  
配慮  
構成・関わり方等

## 1 年生

- ㊦ 目標や願いをもって伸び伸びと行動する子  
① 運動遊びに親しみ、休み時間等に他の児童と一緒に楽しく過ごす子  
㊧ 健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、自他の体を大切にすること  
㊨ 生活の流れを理解し、見通しをもって行動する子
- 一人一人の目標や願いを把握し、状況に応じて、声をかけたり周りの児童に働きかけたりする。㊦①
  - 主体的に遊びを創り出すことができるよう、定期的に集団遊びの機会を設け、ACPを紹介したり誰もが楽しめる作戦を考えるよう促したりする。㊦①
  - 基本的な生活行動が病気や怪我の予防につながることを、学級活動や給食、日常生活の中で機会を捉えて指導し、体を大切にすることを育む。㊦㊧
  - 時間割に慣れることができるよう、「次は」「いつまでに」を丁寧に確認し、板書や掲示で示す。㊦㊨
  - 上記について情報共有し、家庭でも実行すること  
で習慣化を図るよう保護者に促す。㊦①㊦㊨

# 人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。



## 5歳児

- ① 幼稚園生活を楽しみ、自分の方で行動する充実感を味わうことができる子
- ② 身近な人と親しみ、関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わうことができる子
- ③ 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付けた子

- 諦めずにやり遂げることで達成感を味わい、自信を持って行動できるよう、頑張っている姿を認めたり、見通しを持った行動ができるように声をかけたりする。①
- 仲間との共通の目的の実現に向け、一緒に協力して考えたり工夫したりすることができるよう、互いの思いや意見を共有できる場面をつくる。②
- きまわりを理解し守ることの大切さに気付けるよう、ルールのある遊びなどを通して、他者と楽しく安心して生活するためにきまりがあることを実感できる機会をつくる。②③
- 身近な人への愛情や信頼感を深め、よりよい生活に必要な習慣や態度を身に付けられるよう、幼児の日々の姿について家庭と共有するなどして、十分に連携を図る。①②③

## 1年生

- ⑦ 小学校生活を楽しみ、自己を発揮しながら行動する充実感や達成感を味わうことができる子
- ① 他者と自分との関わりを集団の中で捉え、共に協力して豊かな生活をつくることができる子
- ⑦ 社会の特徴や自分との関係に気付き、社会生活に必要な習慣、態度、知識、技能などを身に付けた子
- 何事にも主体的・意欲的に取り組めるよう、楽しく安心して活動できる生活・学習環境を整える。⑦
- 自分の力を発揮しつつ、目的や課題に向かって友達や教師と協力できるよう、伝え合い交流や振り返りの場などを適切に設定する。⑦①
- 学級でのよりよい生活のために必要な目標、きまり、当番、係などを共に決めて実行できるよう、学級活動で決定したことや、係としてのお知らせ事項、役割分担等を掲示物にして共有する。①⑦
- 社会生活に必要な習慣、学習への意欲や態度を獲得できるよう、学級通信などを通じて、家庭とこれらに関する話題や課題を共有し、連携を図る。①⑦

共に育みたい  
幼児・児童像

環境の構成・関わり方等  
指導上の配慮

# 環境

周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていくことを養う。



## 5歳児

- ① 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ子
- ② 身近な環境に自分から関わり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする子
- ③ 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする子

## 1年生

- ア 身近な地域の情報を積極的に取り入れる子
- ① 教科学習に関心をもち、主体的・対話的に問題を解決しようとする子
- ウ 自然の事物や現象に関心をもち、体験を基盤にして理解を確かなものにする子
- エ 数量や文字を理解し、日常生活において活用する子

- 幼児が自然の大きさや美しさ、不思議さ、生命の尊さを感じられるよう、保育者が園内の自然環境を整え、地域の自然に直接触れる機会を設ける。①
- 幼児が好奇心を抱いた物に対し、探求心をもって関わられるよう、保育者は幼児が扱いやすい物や道具を用意し、自由な空間と時間、物の配置を考える。②
- 幼児が日常生活にある数量や文字に関心を示し、自ら数えたり読んだりして便利さと必要感に気付くよう、保育者は数量や文字に触れる環境を整える。③
- 保育者は、幼児一人一人の環境との関わり方を尊重し、試行錯誤を見守ったり一緒にやってみたり、友達との関わりで遊びが深まるよう援助する。①②③
- 幼児が環境との関わりで心を動かす体験を保護者と共有し、家庭でも体験できるよう、保育者は園での遊びの様子を保護者に伝える。①②③環境
- 園は、地域の文化・行事、幼児の家庭での経験を生かして取り入れる。①②③

環境の構成・関わり方等  
指導上の配慮

# 言葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。



## 5歳児

- ① 自分の気持ちや考えを言葉で表現する楽しさを味わう子
- ② 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えを自分なりの言葉を使って相手に分かるように話し、伝え合う喜びを味わう子
- ③ 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語に親しみ、言葉に対する感覚を豊かにし、先生や友達と心を通わせる子。

- 幼児が安心して話すことができるよう、見つめ合ったり、うなずいたり、微笑んだりしながら応答し、園生活の中で温かな人間関係を築く。①②③
- 自然の美しさや不思議さに触れて感動を共有したいと思ったり、集団遊びを通して相手の合意を得る必要性に気付いたりする等、幼児が言葉で伝えたいこと、必要な経験を重ねられるよう、保育内容を考え、環境を構成するとともに、個人の言葉の発達に応じながらモデルを示したり援助したりする。①②
- 絵本や物語を通して、言葉や言葉に対する感覚が豊かに養われるよう、一人一人が未知の世界や想像上の世界に浸り、イメージを広げられるような落ち着いた雰囲気の中で読み聞かせを行う。③
- 家庭でも言葉のやりとりを楽しむ機会が生まれるよう、質問・回答の出来事や言葉に関する情報を通信等で伝える。②③

## 1年生

- ㊦ 相手が知らせたいことを集中して聞き、話の内容を捉えたり、思いや考えを受け止めたりできる子
- ① 相手に伝わるように順序を考えて話したり、相手の状況に応じて言葉を選んで伝えたりできる子
- ㊧ 文章を読んで、自分の経験と結び付けたり想像を巡らせたりし、感想を交流することができる子
- ㊨ 文字を使い、思いや考えを伝えることができる子

- 話し合いを通して問題を解決することができるように、活動を振り返り、困ったことを伝える機会を日常的に設けたり、状況に応じて背後にある思いを尋ねる等仲立ちしたりする。㊦①
- 読書に親しみ、語彙を豊かにすることができるように、読み聞かせを取り入れる。㊧
- 体験に裏付けられたものとして言葉を理解し、意欲的に話し、書くことができるよう、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を行う。㊦①㊨
- 家庭に対し、学校での活動や学習内容を通信等で伝え、話題を提供する。㊦①㊧㊨

共に育みたい  
児童像

環境の構成・配慮  
上での配慮  
関わり方等

# 表現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。



## 5歳児

- ① いろいろなものの美しさなどに対する感性が豊かな子
- ② 感じたことや考えたことを自分なりに楽しんで表現しようとする子
- ③ 生活の中でイメージを豊かにし、友達と一緒に考え合い、様々な方法で表現することを楽しむ子

## 1年生

- ㊦ 自分らしく安心して表現しながら、学校生活や学習に意欲的に取り組む子
- ① 音楽や造形、身体、言葉など、自分の気持ちや考えを一番適切に表現できる方法を選び、表現力を高めようとする子
- ㊦ 表現活動を通して、友達よさや思いを受け止めたり、感動を共有したりする子

- 多様で豊かな感性が育まれるよう、幼児が表現行為に託している思いやイメージを共感的に受け止める。①②③
- 自分なりに表現しようとする意欲が育まれるよう、一人一人の表し方を受け、共に「やりとり」を楽しむ。①②③
- 心が動きイメージが湧き、伸び伸びと表現できる雰囲気、環境に配慮する。②③
- 友達同士で安心して表現し合えるよう、周りの友達の表現方法に関心を向け、そのよさを認めたり取り入れたりできるよう働きかけを行う。②③
- 多様な表現活動を楽しみ満足することができるよう、様々な素材や表現方法に出会う機会を設け、必要な用具を用意したり援助したりする。②③
- 表現活動における幼児の育ちを家庭と共有できる「遊びや生活の様子」を、写真で掲示したりHPに掲載したりして、視覚的に伝える。①②③

- 安定した人間関係の中で素直に表現できるよう、個々の育ちの背景を捉え、様々な表し方を認める。㊦㊦
- 思い思いに表現できるよう、児童の心の動きを見つめ、場や空間、時間を十分に確保する。㊦㊦
- 周りの児童への関心が広がり深まるよう、一人一人の表現を取り上げ、児童同士で感想を述べ合ったり、友達の表現を受けて自分の表現を工夫したりする場を設ける等、学級全体の活動につなげる。㊦㊦
- 家庭が成果物の出来栄のみで評価することがないよう、表現の過程に込められた思いや気付き、工夫等を通信やICT機器により伝える。㊦㊦

共に育みたい  
幼児・児童像

環境の構成  
指導上の配慮  
関わり方等

# 特別な支援

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。



## 5歳児

- ① 周囲の人や環境に関心をもち、積極的に関わろうとする子
- ② 先生や友達、保護者に認められることで意欲を高め、信頼する人に支えられながら、ひたむきに頑張ろうとする子
- ③ 自分なりのコミュニケーション手段により、気持ちや考えを伝え合うやり取りを、楽しくできる子
- ④ 自分が困っていることを、周囲の人に伝えることができる子

- 先生や友達と、時間、場所、活動を段階的に共有しながら、楽しい活動ができるよう、つなぎ役や案内役となり、幼児の関わろうとする思いを支える。①
- 幼児が自分のよさを発揮できるよう、今、出来ていること、出来つつあることを十分に把握し、個別の課題の設定や、抱える困難さへの配慮に努める。②
- 最後までひたむきに頑張ることができるよう、結果だけでなく、挑戦する姿勢や成長過程を大切に見届け、具体的な姿で評価する。②
- 先生や友達、家族との意思疎通が進むよう、楽しい活動を多様に設定するとともに、思わず伝えたくなくなるような出来事に触れられる環境を構成する。③
- 困っていることを言葉やサインで伝えるスキルを教え、うまく発信できた時には、褒めて認める。④
- 園でも家庭でも認められることで意欲を高め、環境を出発点として、出来つつあることを共有し、機会を捉えて認め、励ます。①②③④

## 1年生

- ⑦ 新しい環境や集団のルールに慣れ、毎日を楽しく過ごすことができる子
- ⑧ 生活の流れが分かり、見通しをもって、安心して学校生活を送ることができ子
- ⑨ 困った時には、周囲の人に助けを求めながら、自分で出来ることは、自分でする子

- 場所や物の配置、ルールや1日の流れ等を、写真やイラストを活用したり、行動モデルを示したりしながら、分かりやすく伝える。⑦⑧
- 困った時に、自分から助けを求めることが出来るよう、具体的な場面を通して、スキルを身に付ける支援をする。一方で、児童が自分で出来るようなことは、見守り、見届ける。⑨
- 学校生活への不安が高まり過ぎないように、家庭との情報共有を丁寧に行い、日々の成長を喜び合える関係を築いていく。⑦⑧⑨

共に育みたい  
幼児・児童像

環境の構成・配慮  
指導上の配慮  
関わり方等

## 「架け橋期のカリキュラム」について

本事業において、岐阜県では、各カリキュラムを次のように捉え、整理しました。



「架け橋期のカリキュラム」とは、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間（架け橋期）に係るカリキュラム全般を指します。0歳から18歳の学びの連続性にも配慮します。

「アプローチカリキュラム」とは、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培い、幼児期の学びが、小学校の生活や学習で活かされてつながるよう工夫したカリキュラムのことです。小学校以降を見通して前倒しすることを求めるものではないことに留意する必要があります。

「スタートカリキュラム」とは、幼児期における遊びを通じた総合的な学びを踏まえて、主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうことが可能となるよう、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定に配慮したカリキュラムのことです。特に小学校入学当初において実施されます。

「接続期カリキュラム」は、「アプローチカリキュラム」と「スタートカリキュラム」から構成されますが、本事業では、特に、幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと1年生のカリキュラムを、「共通の視点」から一体的に捉えて1枚にまとめたものを指します。「接続期カリキュラム」により、「アプローチカリキュラム」、「スタートカリキュラム」の位置付けや内容を見直すことが大切です。次頁以降の、「幼保小の架け橋プログラム」指定市町（協力園・学校）版「接続期カリキュラム」等を御参照ください。

下表は、架け橋プログラムの開発に係る基盤づくりから改善・発展サイクルの定着に至るまでのプロセスを、段階的に示したものです。実際には、各市町村、園・学校の実態に応じ、各フェーズ間を行きつ戻りつしながら発展していきます。進め方のイメージを描いた上で、実態に即した取組を進めていきましょう。

		1年目	2年目	3年目	
		フェーズ1 基盤づくり	フェーズ2 検討・開発	フェーズ3 実施・検証	
		フェーズ4 改善・発展サイクルの定着		フェーズ4 改善・発展サイクルの定着	
架け橋期のカリキュラム	方針	○架け橋期のカリキュラム開発会議における準備 ・ 構成員の選定と目指す方向性の共有 ・ 地域の実態の把握	○架け橋期のカリキュラム開発会議における検討・開発 ・ 方針の検討・決定、開発への支援	○架け橋期のカリキュラム開発会議による実施の検証 ・ 実施状況の把握・検証と支援	○持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム開発会議の運営 ・ 方針の改善・発展と支援
	具体化	○接続を見通し、各園・小学校で教育課程編成・指導計画作成 ・ 園・小学校での活動の共有 ・ 子供の交流	○架け橋期のカリキュラムの検討・開発 ・ 共通の視点をもとに内容の検討・開発 ・ 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の共通性の理解 ・ 子供の交流の推進	○架け橋期のカリキュラムの実施・検証 ・ 園・小学校において教育課程編成・指導計画作成、実施・検証 ・ 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 ・ 子供の交流の充実（子供の自発的な交流等）	○持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム ・ 持続的・発展的な架け橋期のカリキュラム ・ 人やものとの関わりを通じた学びを踏まえ、教材としての環境の活用 ・ 持続的・発展的な子供の交流の実施
	園・小学校	○各園・小学校での体制 ・ 連携窓口の明確化 ・ 自園・自校の先生への意識啓発と参画	○幼保小間の体制 ・ 幼保小の合同会議の設置 ・ 相互の教育の内容や方法に関する理解の共有	○幼保小の協働実施の体制 ・ 幼保小の合同会議の充実 ・ 相互の教育の内容や方法に関する理解の深化	○持続可能な体制 ・ 幼保小の合同会議の定着 ・ 相互の教育の内容や方法に関する理解の改善・発展
	実施に必要なこと	○連携強化への支援 ・ 研修の実施（幼保小合同研修等） ・ 自治体内の関係部局との連携	○接続に向けた支援 ・ 研修の推進、研修教材の開発 ・ 関係機関との連携を深め、園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	○幼保小の協働実施の支援 ・ 研修の充実、研修教材の活用 ・ 実施上のニーズの把握と支援 ・ 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート	○持続的・発展的な取組を支える支援の定着 ・ 研修の改善・発展、研修教材の改善・発展 ・ 必要な支援策の改善・発展 ・ 園・小学校と関係機関・関係団体との連携のコーディネート
自治体					

【表】

「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き」より

「たくましい北方の子」を育てる 15年間カリキュラムマップ

学年	幼児教育						義務教育										
	保育園		幼保連携型認定こども園			幼稚園	Ⅰ部 (安心できる仲間づくり)			Ⅱ部 (役割を果たす責任感)			Ⅲ部 (独り立ち)				
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	
教育の内容	健康	清潔にしてもらうことが気持ちよと感じる	安定した生活	のびのびと行動	めあてをもって遊ぶ 身の回りの清潔・整理整頓	10の姿 ①健康な心と体 ②自立心	やりぬく力	健康・安全に留意して意欲的に運動する	健康の大切さに気付き、健康の保持増進に取り組む	健康・安全の大切さに気付き、健康の保持増進や回復に喜んで取り組む	健康・安全に留意し、最善を尽くして運動する	健康・安全を確保し運動に親しむ					
	人間関係	保育教諭・保育士・保護者とのやりとりを楽しむ	身近な人 → 先生や友達 → 友達 → グループで活動	自立心の芽生え	心地よさを感じ、関わりをもととする	③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑦自然との関わり・生命尊重	人と関わる力	身近な人に温かい心で家族に感謝	相手を思いやる家族や高齢者に尊敬と感謝	相手の立場に立つ多くの人の支えに感謝	家族の支えや多くの人の善意に感謝	時と場合に応じた適切な言動	友情的な関係を築く	謙虚に学び、自らを高める			
	環境	身近なものに親しみ、関心をもつ	身近な自然・生き物への知的好奇心・興味関心の広がり	季節・自然・生き物への親しみ 関わって→栽培して→育てて	素材に触れ、違いに気付く 発見を楽しむ	⑥思考力の芽生え ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑩豊かな感性と表現	自ら学ぶ力	順序立てて考える	筋道立てて考える	論理的に考える	豊かに感じたり想像したりする	日常における人との関わりの中で伝え合う	社会生活における人との関わりの中で伝え合う	共感したり想像したりする	社会生活における人との関わりの中で伝え合う		
	言葉	喃語で伝えようとする	喃語や簡単な言葉で遊んだり表現したりすることを楽しむ	生活に必要な言葉が分かる	人の話を注意して聞き、分かるように話す			身近な人、社会、自然との関わりやよさ 地域への愛着	社会 理科	北方町	岐阜県	日本の国土・産業	日本の政治・歴史	地理:日本と世界の特色 歴史:日本と世界の歴史 公民:政治・経済・国際関係			
	表現	伸び伸びと体を動かす	イメージを動きや言葉、演じたりすることで表現	感じたことを音や絵、動作で表現	歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ			自分の思いや考えをもつ	まとめる	広げる	確かなものにする	広げたり深めたりする					
	感性が育つ	玩具などを見たり、触れたり、変化を確かめて遊ぶ	性質や仕組みに気付く	数量・文字・図形への関心	比較・関連付け 計画的に遊ぶ			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感							
	音楽	身近な人との遊びを楽しむ	絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わう	絵本や紙芝居に興味をもつ・楽しむ	言葉のやり取りで気持ちを通わせる			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感							
	図工・美術	遊びながら楽しむ	生活に必要な言葉が分かる	人の話を注意して聞き、分かるように話す	必要言葉を使い、思いを伝える			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感							
	保健体育	歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ	イメージを動きや言葉、演じたりすることで表現	感じたことを音や絵、動作で表現	歌やリズム、全身を動かす			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感							
	家庭科技術	歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ	イメージを動きや言葉、演じたりすることで表現	感じたことを音や絵、動作で表現	歌やリズム、全身を動かす			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感							
北方科	歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ	イメージを動きや言葉、演じたりすることで表現	感じたことを音や絵、動作で表現	歌やリズム、全身を動かす			日常生活や社会の事象を数理的に捉える、数学的に処理→問題解決	数学の事象について統合的・発展的に考え→問題解決	多様な表現から論理的に考えたり、統合・発展的に考えたりする→よさの実感								

# 北方町 幼保小架け橋プログラム（子どもの「育ちと学び」を円滑に接続するためのカリキュラム）

項期 月	幼児期			小学校入学期	
	I 9・10月	II 11・12月	III 1・2・3月	IV 小学校入学～4月	V 5・6・7月
ねらい (期待するこども像)	・友達と一緒に遊びや生活を進める楽しさを味わう。 ・共通の目的をもち、主体的な遊びを進められるようにする。 ・目的や課題に向かい、根気よく取り組んだり、工夫したりしてやり遂げた喜びを味わう。 【養護】安全で健康に過ごせるように、安全や健康に必要な習慣や行動の意味を理解して、行えるようにする。			・小学校での新しい生活において、自分らしさを発揮して行動する。 ・学級や学年の仲間と一緒に生活や学習にのびのびと取り組む。	
視点	幼児期の終わりにまでに育ってほしい <sup>⑩</sup> の姿 ① 健康な心と体 ② 自立心 ③ 協同性 ④ 道徳性・規範意識の芽生え ⑤ 社会生活との関わり ⑥ 思考力の芽生え ⑦ 自然との関わり・生命尊重 ⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨ 言葉による伝え合い ⑩ 豊かな感性と表現			【力いっぱい】生活の基本的なルールを身に付けるとともに、当番や係活動など自分の役割を最後までやりきることができる。	
やり抜く力 ・健康な心と体 ① ・自立心 ②	<input type="checkbox"/> 自分の体に必要な栄養や運動遊びを意識して取り入れようとする。① <input type="checkbox"/> 一日の生活の流れが分かり、自分で判断して行動したり、自分なりの課題をもったりして、いろいろなことに挑戦する。②	<input type="checkbox"/> 卒園までの見通しをもって行動したり、就学に向けて登下校の安全を確認したりする。① <input type="checkbox"/> 活動の区切りや時間を意識して行動しようとする。②	<input type="checkbox"/> 安全な登下校のため交通ルールを守ったり、運動遊びや休み時間などの外遊びを通して、のびのびと行動したりすることができる。① <input type="checkbox"/> チャイムや時計を意識し、時間割に合わせて見通しをもって行動したり、自分でできることは自分でしようと生活や学習での課題に意欲的に取り組んだりする。②	<input type="checkbox"/> 危険な場所や行動について、自分で判断し安全に気を付けて自分の身を守ったり、友達と競い合ったり力を合わせたりして運動できる。① <input type="checkbox"/> 体育や図画工作等、学習課題を意欲的に取り組む。②	
人と関わる力 ・協同性 ③ ・道徳性・規範意識の芽生え ④ ・社会生活との関わり ⑤ ・自然との関わり・生命尊重 ⑦-2	<input type="checkbox"/> 友達と互いの良さを認め合い、集団行動を大切にすること。③ <input type="checkbox"/> ルールや勝敗が分かり、互いに力を合わせて運動遊びに取り組む。④ <input type="checkbox"/> 地域の人や、自分の生活に関わりのある人に親しみや感謝の気持ちをもつ。⑤ <input type="checkbox"/> 飼育・栽培を通して命の尊さを感じる。⑦	<input type="checkbox"/> 共通の目的に向かって、クラスのみならず役割を分担したり、協力したりする。③ <input type="checkbox"/> 友達の様子に気付き、助け合う。④ <input type="checkbox"/> お世話になった身近な人への感謝の気持ちをもつ。⑤ <input type="checkbox"/> 飼育・栽培を通して命の尊さを感じる。⑦	<input type="checkbox"/> 「1年生を迎える会」など目的に向かって、自分の力を発揮しながら友達と協力して取り組むことができる。③ <input type="checkbox"/> 順番など集団活動のきまりを守って生活する。④ <input type="checkbox"/> 自分たちの生活に関わりのある学校で働く人や地域の人に進んで挨拶をする。⑤ <input type="checkbox"/> 生活科の飼育・栽培を通して、生きていることの素晴らしさを知り、生命あるものを大切にしようとする。⑦	<input type="checkbox"/> 友達と思いや考えを伝え合い、受け止めたり認め合ったりしながら、共に活動する。③ <input type="checkbox"/> 相手の気持ちを考えたり、自分の振る舞いを振り返ったりすることを通して、約束を知り、約束を守って学校生活を楽しくしていこうとする。④ <input type="checkbox"/> 生活科や道徳を通して、学校生活を支えている様々な人に関心を持ち、感謝の気持ちをもって関わることができる。⑤	
自ら学ぶ力 ・思考力の芽生え ⑥ ・自然との関わり・生命尊重 ⑦-1 ・数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑧ ・言葉による伝え合い ⑨ ・豊かな感性と表現 ⑩	<input type="checkbox"/> みんなで話し合っ、自分達で解決しようとする。⑥ <input type="checkbox"/> 自然の移り変わりに気付き、遊びに取り入れる中で、試したり調べたりする。⑦ <input type="checkbox"/> 文字や数に興味や関心を持ち、遊びや生活に取り入れる。⑧ <input type="checkbox"/> 人の話に関心をもって聞いたり、相手に分かるように話したりする。⑨ <input type="checkbox"/> 絵本や物語などの展開や面白さが分かり、想像して楽しむ。⑩	<input type="checkbox"/> クラスでの取り組みについて話し合い、自分達で進めていこうとする。⑥ <input type="checkbox"/> 冬から春への変化に気付いたり、発見を楽しんだりする。⑦ <input type="checkbox"/> 数量や図形、文字等を遊びや生活に取り入れ、使ってみようとする。⑧ <input type="checkbox"/> 順序だてて話をしようしたり、話の内容を聞いて理解しようしたりする。⑨ <input type="checkbox"/> 様々な体験や経験を繰り返し、歌、言葉、踊り等、いろいろな方法でイメージを膨らませ表現することを楽しむ。⑩	<input type="checkbox"/> 学習に興味や関心を持ち、「なぜ」「どうして」など疑問に思ったことに対して主体的に解決しようとする。⑥ <input type="checkbox"/> 自然の事物や現象について関心をもつことができる。⑦ <input type="checkbox"/> 教科の学習に関心をもって取り組み、学校マップなどの掲示物を活用し、学習に必要な情報を見付けることができる。⑧ <input type="checkbox"/> 国語や生活科等の教科の自己紹介活動等を通して、コミュニケーションを図ることができる。⑨ <input type="checkbox"/> 音楽や図画工作、体育、生活科など教科の学習において、自分の気持ちや考えを、表現することを楽しむことができる。⑩	<input type="checkbox"/> 話し合いを通して、多様な新しい考えに触れ、自分と異なる考えに気づき、仲間と共に新しい考えを生み出そうとする。⑥ <input type="checkbox"/> 生活科等の学習を通して自然の事物や現象に積極的に関わることができる。⑦ <input type="checkbox"/> 算数や国語、生活科等の教科を通して、数構成や文字を様々な形で理解し、絵や図、言葉などを使って自分の考えを伝えることができる。⑧ <input type="checkbox"/> 先生や友達の話を集めて最後まで聞いたり、相手の状況を考えて、伝えたりすることができる。⑨	
遊びや学びのプロセス	過去の体験のつながり・遊びの中での気付きによる学びの芽生え			生活科を中心に 合科的・関連的な指導による自覚的な学び	
園で展開される活動 小学校の生活科・北方科を中心とした各教科等の単元構成等	始業式 運動会 遠足 さつまいもの収穫 焼きいも大会 文化祭 秋みつけ 虫みつけ 雪遊び ドッジボール			入学式 学校探検 1年生を迎える会 北方科「子ども110番の家」「北方町のおいしいきゅう食」	
指導上の配慮事項と 教師の役割	・友達と共通の目的に向かって役割を分担したり、ルールを決めたりしながら、遊びや生活を進められるようにする。 ・互いの良さに気付き、仲間意識が高められるように援助する。 ・今の自分の良さや弱さを受け入れ、自信をもって新しいことに挑戦していけるようにする。			・幼児期の経験を想起させ、子どもの主体的な学びを促すような合科的な指導を行うことで、教科の力を発揮できるようにする。 ・幼児期に親しんだ活動や、学びやすい環境づくりをすることで、安心して学習できる場を設定する。 ・発達段階を踏まえた時間割(10～15分モジュールを取り入れる等)や学習活動を工夫する。	
家庭・地域との連携 (家庭○ 地域☆)	○園だよりの配布・連絡帳等の活用 ○保育参観 ○個別懇談 ○読書週間(園での読み聞かせ) ○保育発表会 ○学校見学・就学時健診(保護者の疑問や不安を集約する) ○入学説明会(小学校で疑問や不安について回答する) ☆挨拶運動 ☆地域の日(野菜栽培) ☆岐阜農林高等学校との交流 ☆幼保小交流 ☆8年生職場見学 ☆保育実習(9年生との交流) ☆保育発表会への招待			○入学式(1年間の見直し) ○学校・学年便りの配布・連絡帳の活用 ○OPTA総会 ○家庭訪問(保護者との情報共有) ☆学校便りの回覧・配布 ☆地域見守り隊への挨拶 ○授業参観 ○個人懇談 ☆挨拶運動(サミットの日) ☆幼保小交流	

神戸町 接続期カリキュラム「運動遊び」を軸として

		幼児期			小学校入学期				
		I期(9・10月)	II期(11・12月)	III期(1・2・3月)	IV期(小学校入学～4月)	V期(5・6・7月)			
期のねらい		・自分の力を十分に発揮しながら、友達と共通の目的に向かって取り組む。	・友達と意思を出し合い、工夫したり、協力したりしながら意欲的に遊ぶ。	・共通の目的をもち、皆で力を合わせて活動することの充実感を味わう。	・新しい生活に自分らしさを発揮し、仲間と一緒に安心して学びに向かう。	・一人一人の力が学級全体としての力となる喜びを味わう。			
運動遊びのねらい		・自分なりの目標に向かって、進んで体を動かし、繰り返し挑戦する。 ・集団的な活動や遊びのルールを守って体を動かす中で、力を合わせる楽しさを味わう。	・いろいろな運動遊びに挑戦し、自分なりの目標をもって取り組む。 ・友達と考えを出し合いながら、遊びを工夫し根気よく取り組む。	・自分なりの目標をもって挑戦し、戸外で存分に体を動かす。 ・集団での活動の中で、友達との共通の目標をもち、力を合わせてやり遂げる喜びを味わう。	・小学校の運動場や体育館で五感を働かせ、伸び伸びと体を動かす。 ・仲間づくり、エンカウンターを取り入れた運動遊びを楽しむ。 ・集団での活動の中で、友達との共通の目標をもち、助け合い、励まし合ってやり遂げる喜びを味わう。	・主体的に体を動かし、仲間とかかわって遊んだり学習したりする中で、互いのもの見方・考え方を発見し、のびのびと活動することができる。 ・集団での活動の中で、友達との共通の目標をもち、助け合い、励まし合ってやり遂げる喜びを味わう。			
運動遊び		<p>◎おにごっこ・かくれんぼ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と一緒に追いかけて遊ぶ。</li> </ul> <p>◎リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とバトンをもって走ることを楽しんだり、競い合ったりする。</li> <li>・友達と作戦を考えあいながら力を合わせる楽しさを味わう。</li> </ul> <p>◎ボール遊び(ボール・フリスビー等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に投げたり蹴ったり受けたりして、遊ぶことを楽しむ。</li> <li>・距離を競ったり、的に当てたりして挑戦する。</li> </ul> <p>◎サーキット遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な道具を組み合わせて挑戦することを楽しむ。</li> </ul> <p>◎固定遊具(鉄棒・のぼり棒・ブランコ)</p> <p>◎リズム遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲に合わせて踊る楽しさを味わう。</li> </ul> <p>○なわとび・大縄跳び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縄跳びに興味をもちやってみようとする。</li> </ul>			<p>◎多様なおにごっこやかくれんぼ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と安全に楽しく遊ぶための共通のルールを決め、進んで遊びに向かう。</li> </ul> <p>◎ボールゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ってゲームを楽しむ。</li> </ul> <p>◎遊具・器具を使った遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランコ、鉄棒、ジャングルジム、うんてい等の遊具を使って遊ぶ。</li> </ul> <p>◎表現リズム遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽器のリズムや曲に合わせて、手足の動きを工夫して踊る。</li> </ul>			<p>◎ゲーム性をもたせた体ほぐしの運動遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色おに・氷おに・しっぽとり等、ゲーム性をもたせて遊ぶ。</li> <li>・トラブルがあったときは必要なルールを話し合う。</li> </ul> <p>◎リレー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間とバトンを持って走ることを楽しんだり、競い合ったりする。仲間と励まし合い、やり遂げる喜びを味わう。</li> </ul>	
◎集団の遊び ○個の遊び					<p><b>あおぞらタイム</b></p> <p>～ドッジボール～</p>				
					<p><b>全校たてわり遊び：「フレンドリー遊び」異年齢集団により、助け合って遊ぶ。</b></p> <p>～ たてわり大縄跳び ～</p>				
視	思考力の芽生え	・友達の様々な考えにふれ、取り入れながら遊ぶ。	・遊びのイメージを膨らませ、友達と一緒に必要なものをつくって遊ぶ。	・遊びがより楽しくなるように、新しい考えを見つけ出し楽しむ。	・学習や運動遊びに興味をもち、「もっと知りたい」「なぜ？」を出す。	・学習や運動遊びの体験を通して、「もっと知りたい」「なぜ？」を出し、進んで考えたり疑問を解決したりする。			
	数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚	・保育者や友達と一緒に数量や図形、標識や文字などに触れて親しむ。	・ひらがなを読んだり数字を読んだり書いたりするなど、文字や数字の興味や関心を深める。	・ルールのある遊びの中で、数量や図形、標識や文字などを取り入れて遊ぶ。	・学習や運動遊びにおいて、人数、回数、列の並び順等、数にふれる体験をする。	・学習や運動遊びを通して、文字、計算、図形を見ることに親しみ、考えたり解決したりする体験をする。			
	言葉による伝え合い	・感じたことや考えたことなどを相手に伝える。	・思ったことや考えたことを伝え合うことを楽しむ。	・相手にわかるように工夫しながら言葉で伝えたり、相手の話を理解しながら聞く。	・一人一人が興味をもっていることについて伝えながら、自己紹介ができる。	・楽しかったこと、次がんばりたいことを帰りの会で話そうとする。(個人・ペア・全体の場)			
	豊かな感性と表現	・曲に合わせて踊ることを楽しむ。	・友達と一緒に表現することを楽しむ。	・踊ったり演じて遊んだり、友達と一緒に表現する過程を楽しむ。	・表現活動を積み重ねながら、動きや言葉などで表現したり演じて遊んだり、仲間と一緒に表現する過程を楽しんだりする。 ・相手を受け入れ、反応する。	・五感を働かせて豊かに表現する。 ・互いの表現を受け入れ、よさを感じ合う。			
点	自立心	・目的に向かって、自分で考えたり工夫しながら繰り返し挑戦する。	・根気強く取り組み、自分の力でできた喜びを味わう。	・難しい事でも自分でやってみようと挑戦し、あきらめずにやり遂げる。	・生活や学習の課題に意欲的に取り組もうとする。 ・時間を見て、活動を切り替えようとする。	・「自分のことは自分でできる」ことへの自信をもつ。			
	協同性	・同じ目的をもった友達と遊ぶ中で、思いや考えを出し合い遊びを進めていく喜びを味わう。	・遊びが楽しくなるようにルールや役割を決めたり、考えを出し合ったりして遊ぶ。	・助け合ったり励まし合ったりしながら、共通の目的に向けて友達と一緒にやり遂げる。	・「生活科 学校探検」「仲間遊び」を通して、お互いのことや学校を知る。	・仲間のよさについて認め合う(帰りの会・道徳等)			
	道徳性、規範意識の芽生え	・友達と様々な体験を重ね、きまりを守ることの大切さがわかる。	・自分の気持ちを調整し、きまりを守って遊びを進める。	・友達と考えを出し合い、折り合いを付けながら、きまりをつくり守ったりして遊ぶ。	・たてわりチームでの遊びが楽しくなるためのルールを上級生から教えてもらい、安心して遊ぶ。	・学校生活において、互いに思いやる心を大切に活動する。			
生活する力	健康な心と体	・自分のやりたいことに取り組み、友達と競い合ったり協力し合ったりして全身を動かして遊ぶ。	・戸外遊びに意欲的に取り組み、十分に体と心を動かして遊ぶ心地よさを味わう。	・十分に遊ぶことで満足感を味わい、活動の見通しをもつ。 ・体の動きを調整し、遊具、用具を巧みに操作する。	・小学校の運動場や体育館で、五感を働かせ伸び伸びと体を動かす。	・「多様な動きをつくる運動遊び」を通して、基本的な動きを身に付ける。			
	社会生活との関わり	・異年齢児や職員、地域の方などいろいろな人に親しみをもつ。	・異年齢児との様々な関わり方に気付き、相手の気持ちを考えて関わる。	・身近な友達とのかかわりを深めると共に、小学生や地域の人々との交流から情報を取り入れ、遊びに活かす。	・地域の人々に大切にされていることを実感し、自分からあいさつをして関わる。	・地域の人々に大切にされていることを実感し、自分からあいさつしたり、話しかけたりする。			
	自然との関わり・生命尊重	・季節ごとの身近な環境や自然事象に興味や関心をもって関わり、気付いたことや感じたことを話したり遊びに取り入れれたりする。			・バラやツバメ等、校庭の自然に興味をもち、遊びに取り入れる。	・生活科の花、野菜等の栽培や生き物の観察を通して、気付いたり考えたりしたことを表出する。			
子どもへの配慮		◎遊びの中でトラブルを大切にし、問いかけたり一緒に考えたりしながら、自分たちで思いを伝え合おうとする姿を十分に認める。	◎相手の気持ちをわかろうとする姿を丁寧にとらえ、一緒に考えたり励ましたりする。	◎1年生への憧れや期待をもち、遊びや生活をより良くしていこうとする姿を認める。 ◎できるようになったことを認め、安心して自分の力を発揮できるようにする。	◎ルールやマナーを守ることを大切にし、発達を踏まえた学習活動、運動遊びを計画する。 ◎スムーズな接続を考えた時間割にする。	◎当番活動や係活動、運動遊びを通してトラブルを解決し合える人間関係づくりに配慮する。 ◎安心感、所属感を土台とした学級を創る。			
幼小・家庭との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中の多様な動きは体力・運動能力を育て、さらには、社会性や創造力を育てていくことを知らせ、「1日60分以上」をめやすとして、保護者も一緒に体を動かすように働きかける。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然とのかかわり」「仲間とのかかわり」「社会とのかかわり」を通して体力・運動能力を育て、さらには、社会性や創造力を育てていくことを知らせる。</li> </ul>				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事の中で、小中学生や地域の方々との交流をする。</li> <li>・園内研究会や校内研究会へ参加し、教職員間の連携を深める。</li> <li>・幼児園での実習を通し、子どもの育ちについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学時健診、入学説明会に参加する。</li> <li>・保護者の不安に対し、小学校と連絡を取り合って対応する。</li> <li>・情報連絡会を開催し、一人一人の育ちを丁寧に伝える。</li> <li>・園での指導の経過をまとめ、小学校へ引き継ぐ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学式、一年生を迎える会</li> <li>・子どもの育ちや園での指導を踏まえ、職員、保護者との連携を密にする。(園からの申し送り事項)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人の様子を観察し、情報共有をする。(個人懇談・学校便り、学級通信、学校評価等)</li> </ul>				

可児市「笑顔の“もと”」接続期カリキュラム【東明小学校】

東明小「笑顔の“もと”」  
すすんで なかまと おわりまで

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿  
＜重点＞ ③協同性

<子どもの実態>  
・自分の思いを伝えられない、主張しすぎてしまう、相手の気持ちや立場を考えない等、仲間と共に活動を楽しむことができないことがある。  
・初めてのことで、できないことや負けることへの不安を感じる子が多い。  
・仲間への見方、仲間との関係が固定的なものになる傾向がある。

<願う子どもの姿>  
仲間のよさに共感し、温かく広い心を持ち、協調できる子  
・自分や仲間のよさを認め、楽しく園生活、学校生活をおくることができる。  
・不安や心配なことにも挑戦しようとする気持ちを持ち、仲間や周囲の大人と関わりながら、充実感を味わうことができる。  
・譲り合ったり、励まし合ったりする中で、仲間と関わることのすばらしさを感じることができる。

	5歳児			1年生	
	1期(4・5月) 2期(6～8月)	3期(9～12月)	4期(1～3月)	前期(4～9月)	後期(10～3月)
ねらい	・進級を喜び新しい環境に慣れる。 ・年長組になった喜びから、自分から進んで生活し、自分でできることは自分でする。	・友達と一緒に遊びや生活をする中で、思いや考えを出しあう。 ・自分の力を発揮し、協力して仲間意識を深める。	・生活に見通しを持ち、自信をもって自分たちでやり遂げる。 ・小学校生活への期待をもちながら、充実した園生活を過ごす。	・小学校での新しい生活や学習に、自分の力で取り組むことができる。 ・仲間と一緒に取り組むことができる。 ・自分の役割を意識して活動することができる。	・自分らしさを発揮し、仲間と一緒に生活や学習にのびのびと取り組むことができる。 ・課題について友達と相談し、助け合いながら活動し、仲間と一緒に活動することのすばらしさを感じることができる。
「協同性」に関わる姿	・自分の考えたことを相手に言葉で伝える。 ・異年齢の子にやさしくする。 ・「いいよ」「だめだよ」が言える。 ・相手の気持ちに気付く。 ・「ありがとう」「ごめんさい」が言える。 ・友達と仲よく活動する。 ・「いれて」「かして」「一緒に遊ぼう」が言える。	・自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。 ・友達と共通の目的に向かって協力する。 ・嫌なことや困っていることを言葉で伝える。	・自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝える。 ・友だちの良さを認め、思いやりの気持ちを持ち、友だちと協力して活動する。 ・譲り合ったり人との折り合いをつけたりする。	・自分の考えを、仲間に分かるように話す。 ・仲間と一緒に決められたことを協力して取り組む。 ・仲間が話すことをよく聞く。 ・仲間の良い姿を見つけ、認める。	・課題解決に向かって、自分の力を発揮しながら友達と協力して取り組むことができる。
「人と関わる力」(協同性)の育成に関わって	<p>&lt;活動例&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 15%;"> <p>あったかあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはよう さよなら 元気よく</li> <li>・自分からあいさつ</li> <li>・名前つきあいさつ</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 15%;"> <p>みんなであそぼう①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷おに</li> <li>・手つなぎおに</li> <li>・どろけい</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 15%;"> <p>みんなであそぼう②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ころがしドッジ</li> <li>・ドッジボール</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 15%;"> <p>みんなでいっしょに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはようじゃんけん</li> <li>・さよならじゃんけん</li> <li>・ひたすらじゃんけん</li> </ul> </div> </div>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの良さを認め合う取組</li> <li>・ワークショッププログラム</li> <li>・QUを活用した集団作り</li> <li>・「笑顔の“もと”」プログラム 低学年版</li> <li>A: 5分間プログラム</li> <li>B: 15分間プログラム</li> <li>C: 1時間プログラム 「みんなのことをしよう」「とてもうれしい!」「おこっているわたし」</li> </ul>	
可児市立 瀬田幼稚園	こいのぼりづくり 夏まつり 水路作り	運動会の取組・練習 運動会 発表会 お店屋さんごっこ	郵便屋さんごっこ	【国語】 「いいてんき」 ・ペアで教科書を見ながら、みつけたものを話す。 ・クイズを出し合う。 「わけをはなそう」 ・ペア学習で交流する。 「おおきなかく」 ・グループ単位に分かれて、劇を行う。 「すきなもの なあに」 ・ペア学習を行った後、グループ学習をしていく。	【朝の会】 ・じゃんけんゲーム ・仲間集めゲーム  【行事】 「運動会」 ・学年部で取り組む表現活動 ・全校で取り組む応援活動 「校外学習」 ・モンキーセンターでの活動(グループ活動) 「茶道体験」 「つどい活動」(異学年交流) 「大縄跳びの取組」 「委員会活動への協力」
可児市立 久々利保育園	こいのぼりづくり 夏まつり 水路作り	運動会の取組・練習 運動会 発表会 お店屋さんごっこ	郵便屋さんごっこ	【算数】 「いくつといくつ」 ・ペアでブロックや数カードを使い、ゲームを行う。 「たしざん」「ひきざん」 ・ペアで説明をしあう。	
私立 トキワ幼稚園	太鼓あそび 砂場あそび	運動会の取組・練習 運動会 お店屋さんごっこ リズムあそびの会	ドッジボール大会 ことばあそびの会	【生活】 ・2年生と一緒に学校探検を行う。 ・1年生だけで学校探検を行う。 ・おもちゃづくり	
私立 ひろみ保育園 すくすく	クラス目標決め 夏まつり 運動会への取組・練習(鼓笛・組体操)	運動会	廃材あそび 音楽会		
保育者・教師の援助	・持ち物や遊んだ後の片づけなど、生活の仕方を子ども同士確認しあいながら整えていけるよう促す。 ・挨拶やルールを守ることの大切さを繰り返し伝える。 ・いろいろな友達とかかわる中で、トラブルが起こったときには、互いに分かり合えるよう仲立ちとなり、相手の気持ちに気付けるようにする。	・友達に自分の思いを聞いてもらえた嬉しさを実感できるように、必要に応じて仲立ちする。 ・友達とイメージを共有し、見通しをもって取り組むことで、クラス全体でやり遂げた喜びと満足感を味わえるようにする。	・生活習慣が身に付いているか、見直し確認する。また、見通しを持ち行動してきた時は、十分に認め、自信につなげていく。 ・入学に対する期待や不安を受け止めるとともに、大きくなったことを感じられる場や機会を設けて、一人一人を十分に認める。	・学校生活に慣れることができるように、4月は活動を短く区切る等、集中できるように工夫する。 ・学校生活での約束を仲間と共に確認し、定着させていく。 ・係活動など、一人一人に役割を持たせ、やりきった喜びを味わわせると共に十分に認める。 ・幼児の思いや考えから豊かな学びを展開していくなど幼児期の教育の方法を、小学校においても、児童の発達段階や各教科等の指導の目標・内容に応じ、取り入れていく。	・行事等を通して、仲間と取り組むことの楽しさ、充実感などが味わえるように声かけ、励ましをしていく。 ・1年間のできるようになったことに気付かせ、自分の成長に気付かせ自信を持たせる。 ・表に現れた言葉や表現の正確性だけに目を奪われるのではなく、適切に言葉や表現にしようと考え込んでいる子どもを察知し、具体的に支援する。
家庭・地域との連携	○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について、園だより等で周知、啓発する。 ○保育参観・運動会等での親子活動			○学校だより、ホームページ、週予定、学年通信等で、学校生活の流れ、子どもたちの様子を伝える。 ○授業参観等での親子活動	



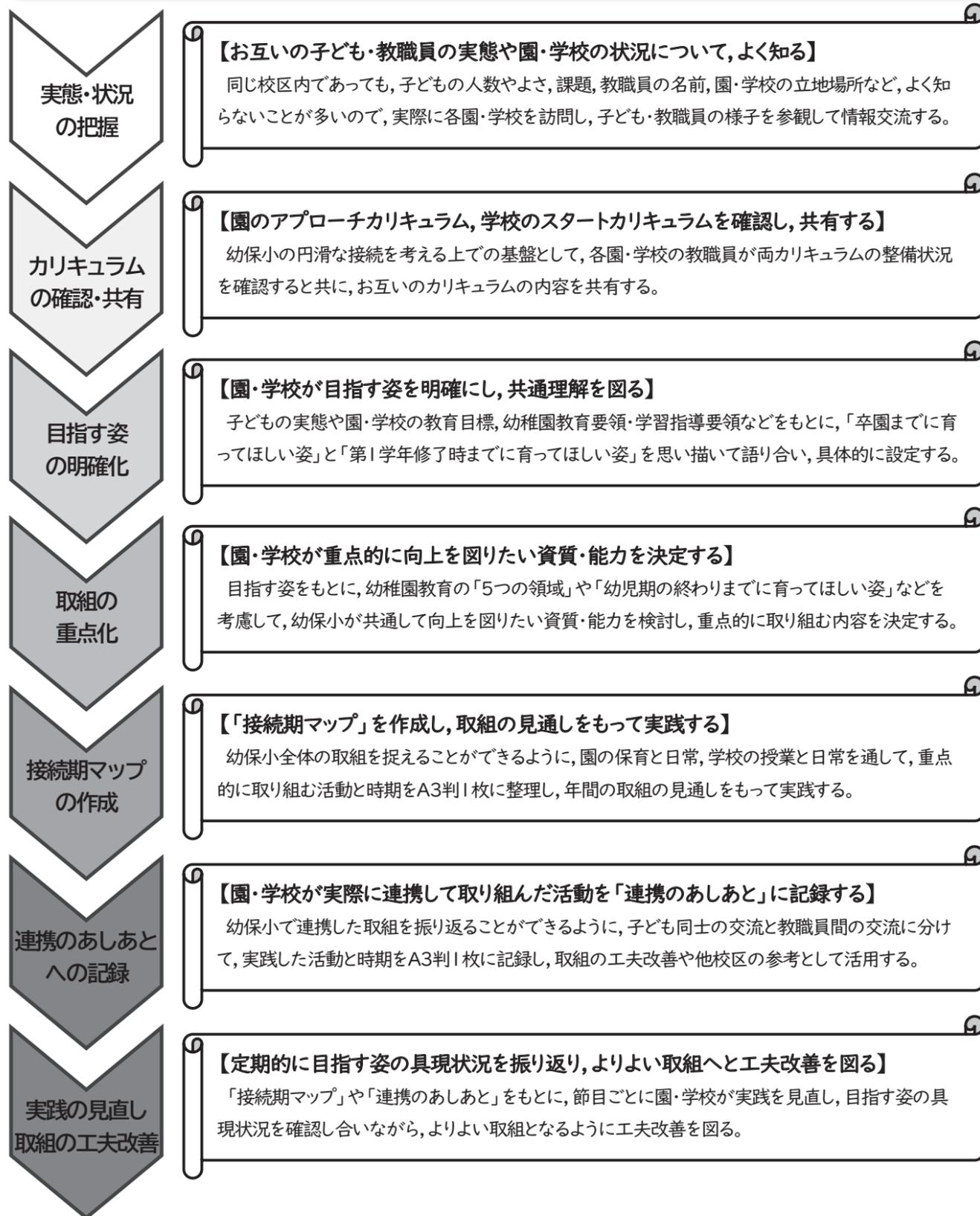


令和5年度 子どもの育ちと学びをつなぐ「連携のあしあと」

土岐市立泉西小学校区（泉西小附属幼稚園・久尻保育園・泉西小学校）

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
幼保小共通行事			<b>巡回相談</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 幼稚園・保育園 【内容】 ・5歳児の見学 ・支援児の交流			<b>就学前懇談</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・三者懇談	<b>就学時健診</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・健康診断				<b>入学説明会</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・保護者への説明 ・物品購入		
子ども同士の交流	小学生と幼稚園児での分団登校												
	小学校と幼稚園			<b>Go to 西小 ①</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・学校探検 ・じゃんけんゲーム ・活動の振り返り			<b>Go to 西小 ②</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・ダンス交流 ・活動の振り返り			<b>Go to 西小 ③</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・葉っぱや実遊び ・活動の振り返り			
	幼稚園と保育園						<b>幼保交流 ①</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 幼稚園 【内容】 ・リレー交流 ・リズム交流 ・活動の振り返り			<b>幼保交流 ②</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 織部の里公園 【内容】 ・集団遊び ・活動の振り返り			<b>Go to 西小 ミックス</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・1年生の宝物発表会参観 ・手作りおもちゃ遊び ・歌の交流 ・活動の振り返り
小学校と保育園							<b>Go to 西小 ①</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・就学前の三者懇談 ・学校探検 ・活動の振り返り			<b>Go to 西小 ②</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・ダンス交流 ・活動の振り返り			
教職員間の交流	電話等による日常的な連絡・相談												
	<b>担任顔合わせ会</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・挨拶 ・今年度の方向確認 ・年間連携計画確認		<b>1年生授業参観</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・1年生授業参観 ・意見交流 ・指導の見直し確認								<b>5歳児保育参観</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 幼稚園・保育園 【内容】 ・5歳児保育参観 ・意見交流 ・指導の見直し確認		<b>引継ぎ会</b> 【時期】 初 / 中 / 下 【場所】 小学校 【内容】 ・園の「生活づくり」 「学習づくり」の共有 ・支援児への配慮

## 開発の手順



## 解説

### 【接続期マップ】

#### 作成の意図

幼保小の接続期（5歳児と小学校第1学年の2年間）において、幼保小が共通して向上を図りたい資質・能力を育成するために、重点的に取り組む活動と時期を整理し、幼保小の取組全体を捉えることによって、お互いの取組を把握し、年間の見通しをもって実践することに役立てる。

#### 見方

〔5歳児〕

- ・A3判左半分に、縦軸を保育と日常、横軸を時期（Ⅰ～Ⅳ期）として、幼稚園・保育園で行う取組を位置付けている。
- ・5つの領域の1つである「言葉」と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の1つである「言葉による伝え合い」の向上を図りたい保育の題材を選び、実施時期に示している。
- ・各題材について、題材名・主な学習形態・幼稚園教育要領の領域「言葉」のねらい・活動を記している。
- ・Ⅳ期の右側には、「卒園までに育ってほしい姿」を設定している。

〔小学校第1学年〕

- ・A3判右半分に、縦軸を授業と日常、横軸を時期（1～3学期）として、小学校で行う取組を位置付けている。
- ・国語の領域の1つである「A 話すこと・聞くこと」と生活科の内容の1つである「伝え合う活動」の向上を図りたい授業の単元を選び、実施時期に示している。
- ・各単元について、単元名・主な学習形態・第1、2学年「思考力、判断力、表現力等」「A 話すこと・聞くこと」の指導事項（国語）・活動を記している。
- ・3学期の右側には、「第1学年修了時までには育ってほしい姿」を設定している。

### 【連携のあしあと】

#### 作成の意図

年間を通して、幼保小の園児・児童間と教職員間において、実際に連携して取り組んだ活動と時期を記録し、幼保小の取組全体を振り返ることによって、次年度に向けた取組の工夫改善や他校区の参考として活用する。

#### 見方

- ・A3判に、縦軸を幼保小共通行事、子ども同士の交流、教職員間の交流、横軸を時期（4～3月）として、幼稚園・保育園・小学校で行う取組を位置付けている。
- ・各活動について、活動名・おおよその時期・場所・主な内容を記している。
- ・継続して取り組んでいる活動として、小学校と幼稚園の子ども同士の交流では分団登校、教職員間の交流では電話等による日常的な連絡・相談を示している。

期 月	幼 児 期 (アプローチカリキュラム)				小学校入学期 (スタートカリキュラム)		※小学校1年生終了時
	4月～5月 【5歳児前期】	6月～8月 【5歳児前期～5歳児中期】	9月～12月 【5歳児中期】	1月～3月 【5歳児後期】	小学校入学～4週間	5週目～8週目	9週目～3月末
ねらい	・年長児としての自信と意欲をもち、様々な活動に取り組む。 ・新しい環境の中、落ち着いて生活し、遊びを楽しむ。 ・季節の変化や自然の美しさに興味をもつ。	・様々な活動を通し、運動機能を高め活発に遊ぶ。 ・友達といっしょに遊びながら、気持ちを伝え合い、遊びの幅を広げていく。 ・異年齢児と関わりを持ち、優しい心を育む。	・仲間の大切さを実感し、自覚や自信をもち、友達への親しみや信頼感を高める。 ・同じ目的・目標を持ちながら一つのことを成し遂げていき、そのことの充実感を味わう。 ・様々な活動を通し、表現力を豊かにする。	・互いのよさを認め合いながら、集団生活の決まりを守り、見通しをもって生活する。 ・様々な経験や対人関係の広がりを通し、自立心を高め、就学への意欲をもつ。 ・一人一人の安全に対する認識や関心を高めていく。	・生活科を中核とした総合的な指導等で、学校生活の過ごし方や学習のルール等を身に付け、安心して学校生活を送る。 ・生活や学習の課題に意欲的に取り組む。 ・仲間の話や気付きに関心をもつ。	・学校生活や学習のルールを守る。 ・教科の学習に興味関心を持ち、願いをもって学習したり行動したりする。 ・仲間と話し合ったり決めたり解決したりする等、仲間意識をもつ。 ・自分でできることやしたいことに取り組む。	・自己肯定感が高まり、自分に自信をもって生活する。 ・4月から上級生になる自覚をもち、様々な学習や行事に取り組む。 ・運動、遊び、体育の授業に関心をもち技能を高める。 ・仲間との学習、遊びなど、集団で行動することに楽しさや所属感をもつ。 ・問題や課題に対して問題意識をもち、仲間と解決しようとする。
自ら学ぶ力	①思考力の芽生え ②数量や図形、標識や文字などへの関心、感覚 ③言葉による伝え合い ④豊かな感性と表現	①保育士等や友達の話聞き、内容を理解する。 ②絵本や紙芝居、図鑑等に親しむ。 ③保育士や友達に自分の気持ちを伝えようとする。 ④様々な素材を使った物作りや、友達といっしょに歌ったり踊ったりすることを楽しむ。	①場面により言葉を使い分けていく。 ②遊びに使う物の数や人数などを数えたり比べたりする。 ③イメージしたことや感じたことを、言葉や造形等で表現する。 ④楽器を使い、音色の美しさやリズムの面白さを味わう。	①友達同士で考えを出し合いながら、楽しく遊ぶ。 ②日常生活を通して、文字、数、標識等に興味・関心を高める。 ③人の話を注意して聞いたり、相手に分かるように話したりする。 ④生活や学習の中で発見したことや自分の思い、考えを、言葉で表現しようとする。 ⑤絵本や物語に親しみ、想像したり演じたりして遊ぶ。	①話す人の目を見て、黙って最後まで聴き、自分の考えをもつ。 ②正しい鉛筆の持ち方やノートの使い方がわかり、自分でやってみる。 ③大きな声で返事をしたり話したりする。 ④具体物操作や体験活動を楽しみ、五感を使って理解を深めたり表現したりする。	①②生活の中で数の必要性や便利さに気付き、文字や数量などを使った教科の学習に、興味関心をもって取り組む。 ③授業の流れや「聴く・話す」のルールがわかり、自分の考えを伝える楽しさに気付く。 ④音楽や造形、身体による表現などを楽しみ、自分の気持ちや考えなどが表現できる。	①言葉や文章の意味を考えながら読んだり、計算したりする。必要なことをノートに書きこむ。 ②正しく鉛筆を持つなど、学習の基礎基本が身に付く。 ③④自分の考えを挙手発表でき、わからないことを「分からない」と伝える。 ⑤⑥⑦物語や道徳で人物の心情を想像する、数の並びや計算のきまりを見つける、調べ学習で新たな発見をする、など自分たちで探究する楽しさを味わう。
	目指す姿	⑤自立心 ⑥協同性 ⑦道徳性、規範意識の芽生え	⑤保育士等や友達に親しみをもち、楽しく園生活をする。 ⑥友達と役割を決めたり交代しながら、仲良く遊ぶ。 ⑦新入園児に親しみをもち、優しくしたり一緒に遊んだりする。	⑤遊びの中で、友達のいろいろなよさに気付き、認め合う。 ⑥集団を意識して、みんなと一緒に行動する。 ⑦集団生活には、きまりが必要であることを理解し、きまりを守って行動する。	⑤共通の目的に向かって、クラスみんなで分担したり協力したりする。 ⑥友達と一緒に遊ぶ中で、折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。 ⑦よいことや悪いことが分かり、人がいやがることをしたりいやなことを言ったりせず、相手のことを思った言葉や行動を増やす。 ⑧様々な人との触れ合いを通して、自分が成長したことに気付き、感謝の気持ちをもつ。	⑤困ったときやつらいとき、困った人を見かけたときは、先生や大人に相談する。 ⑥「1年生を迎える会」に向かって、仲間と協力して取り組む。 ⑦給食の準備、片付けや掃除の仕方等を覚え、みんなで協力して取り組む。 ⑧大きな声で「はい」と返事をしたり、友達や先生に、あいさつしたりする。	⑤自分でできることは自分でしようと、積極的に取り組む。 ⑥遊びや活動の中で友達の意見に耳を傾けたり、自分の考えを主張したりして、上手に仲間と関わる。 ⑦相手の気持ちを考え、自分の行動を振り返ることを通して、ルールを作ったり守ったりして、学校生活を楽しく安全に過ごす。
生活する力	⑧健康な心と体 ⑨社会生活との関わり ⑩自然との関わり、生命尊重	⑧戸外でのびのびと遊ぶ。 ⑨健康な生活を送るために、基本的な生活リズムを身に付ける。 ⑩保育士等との関わりの中で信頼関係を築き、自分の気持ちを伝え、安心して過ごす。 ⑪共同で使う物を大切に、使ったものは、元の場所へ返し、片付ける。 ⑫花や野菜の栽培、虫の飼育等を通して、生き物に関心をもつ。	⑧暑さ(や寒さ)に負けず食事をとり、体を動かし、遊びを楽しむ。 ⑨自分の体の状態がわかり、困ったときには先生や大人に様子を伝える。 ⑩身の回りの事象や自然の変化に気付き、身近な小動物に親しんだり、いたわったりする気持ちを持つ。	⑧健康な体づくりに関心をもち、好き嫌いを少なくしたり、規則的に排便したりするなど、健康的な生活習慣を身に付ける。 ⑨友達と仲良くしたり競い合ったりして、全身を動かして遊ぶ。 ⑩一日の生活の流れがわかり、自分から行動する。 ⑪身近な自然の美しさや季節の移り変わりに気付き、遊びに取り入れられたり、素材を使って作ったりする。	⑧風邪予防のうがいや手洗いなど、健康な生活に必要な習慣・リズムを身に付け、自分でできたことに自信や満足感をもつ。 ⑨生活の中で見通しをもち、時間を意識しながら行動する。 ⑩季節の移り変わりとともに、生活にも変化があり、対応していくことが大切であることを知る。	⑧運動や休み時間の外遊び等を通して、のびのびと体を動かす。 ⑨給食では食べられる量を加減し、自分で決めた量を食べる。 ⑩休み時間の過ごし方を考え、遊んだり、授業の準備をしたりトイレへ行ったりする。 ⑪栽培活動を通して自然や植物に関心をもち、根気よく世話をする。	⑧自分の体や気持ちの状態を言葉で伝える。 ⑨つまずきや困難なことがあっても、気持ちを切り替えて挑戦するたくましさをもつ。 ⑩自分で歩いて登校する。(気力・体力共に) ⑪時間を意識して行動できる。 ⑫自分が周囲の支えによって生活できていることに気づく。
ねらいを育む主な活動	新入園児歓迎会/数遊び/地域祭り見学/栽培活動(苗植え種蒔き)/交通安全教室/春の遠足	不審者対応訓練/数遊び/プール掃除/七夕まつり/夏まつり/プール遊び/夏野菜の栽培、収穫/自然体験	体験学習/数遊び/運動会/秋の遠足/観劇/保小連携/祖父母参観/秋祭り/七五三/発表会/数遊び/クリスマス会/大掃除	数遊び/体験学習/コマ・けん玉大会/園内お別れ会/卒園式	入学式/1年生を迎える会/通学班集会/学校探検	スポーツテスト/交通安全教室/命を守る訓練/栽培活動	運動会/町探検/スキー教室/6年生を送る会/保育園との交流会/新1年生の教室飾り
ACPIにより育成が期待できる力	ACPIを通して育む力 … 運動能力(走る・跳ぶ・投げる) ・ ◎仲間と関わる力 ・ あきらめない心 (⑤⑧運動習慣 ⑧運動能力 ⑤⑨規則正しい生活習慣 ③⑥⑦⑨トラブルを通じた社会性 ⑦ルールを守る規範意識 ⑤⑧粘り強さ ⑤⑩有能感 ①②④⑤意欲 ⑤立ち直り)						
保小をつなぐACPI活動～仲間と関わる力を中心として～	担任の説明を聞いて遊びのルールを理解し、集団の中で意欲的に遊ぶ。	友だちのがんばりを認め、友だちを意識しながら、きまりを守って遊ぶ。(あの子のようにほくも～負けぬぞ)	友だちや担任と関わり合いながら遊ぶ中で、自分の気持ちや考えを言葉で伝えられる。「分からない」「もっとこうしたい」	仲間と関わり合いながら、よりよい方法を考えて遊ぶ中で、相手のことを考えた声をかけられる。「こうするといいよ」「○○しよう」	◎朝活動(週1程度)・体育の時間の準備運動で実施： いうこと一緒、やること一緒/いうこと一緒、やること逆/ねこねずみ/しっぽとり/ボール運び/爆弾ゲーム/倒しちゃうゲーム/リズムジャンプ など ※全学年で実施		
小学校に向けての気持ち	興味 関心 「小学校って何を するの?」 「どんなところ?」	期待 不安 「小学校って楽しそう」 「大きくなった自分なら、 何でもできそう」 「友達できるかな」	憧れ 安心 「やってみよう」 「もつとやりたい」 「できるようにになりたい」 「保育園と同じ運動遊び があるんだ、安心した」	喜び 安心 「何でもできるぞ」 「○○ちゃん、すごい」 「やり続けたら、できるようになったぞ」	安心 成長 「小学校って楽しいな」 「友達がたくさんできたよ」 「自分からチャレンジするぞ」 「わからなかつたら、聞けばいいんだ。」	「学校のことがわかってきたよ」 「○○が楽しいし、得意だよ」 「いろいろなことができるようになったよ」 「今度は、○○ができるようになりたいな」	
子どもへの配慮	・新しい環境に喜びと不安を抱いているので、一人一人の生活リズムに合わせて、ゆとりをもち関わっていく。 ・幼児の思いやイメージを大切に、イメージが実現できるよう寄り添い、一緒に考えながら活動をを進める。 ・一人一人の気付きに共感し、自然の変化や動植物への興味、関心を育てていく。 ・一人一人が力を発揮している姿をほめたり認めたりして自信を持たせ、周りの子に広めていく。 ・自分とは異なる存在を受け止め、様々な感情の経験ができるようにする。 ・友達同士で励まし合い、認め合えるような関係づくりを援助する。 ・一日の生活の流れを見通して行動できるよう環境を整え、安心して活動できるようにする。 ・新しい生活に向けての期待と不安を受け止め、誇りをもち就学を迎えられるようにしていく。				・保育要録や引継事項を参考にし、職員共通理解のもと、指導にあたる。 ・1時間目や朝活動を幼児期からのつなぎの時間と考えて遊び要素を取り入れた活動で、学校生活の過ごし方や学習のルール等を自然に楽しみながら身に付けていく時間とする。 ・安心して学校生活を送ることができるよう、活動に見通しをもたせたり具体的な指導をしたりする。 ・発達を踏まえた時間割や学習活動を工夫する。 ・生活科を中核とした総合的な指導により、児童に「明日も学校に来たい。」という意欲をもたせる。 ・生活科の遊び要素を生かして、自己決定、自己実現の場をつくる。		
園と家庭	○園だよりの配布・連絡帳等の活用 ○保育参観 ○親子でリズム運動にチャレンジ!(仮) ○祖父母参観 ○保育参観・お別れ会 ○卒園式				○学校・学年・学級だよりの配布(学校行事や児童の様子等情報発信) ○連絡帳による情報交換(1学期いっぱいには密に行う。) ○個人懇談による情報交流 ○必要に応じて家庭訪問 ○入学式 ○授業参観・PTA総会・懇談会(1年間の見直し)		
園と小学校	※4歳児について 園児の発育・発達で心配事がある保護者との面談	○保小連携保育参観① ○学校職員保育園体験 ○保小連携保育参観②	○保小連携保育参観③	○保小連携保育参観④	○園児・児童交流① ○就学時健診・入学説明会(就学に向けての保護者への支援) ○園児・児童交流②		

## 令和5年度 県カリキュラム開発会議ワーキンググループ メンバー

- 〈健康〉 ・ 春日 晃章 東海国立大学機構 岐阜大学 教授
- ・ 小椋 優作 中部学院大学短期大学部 講師
- 〈人間関係〉 ・ 光井 恵子 大垣女子短期大学 教授
- ・ 安部日珠沙 岐阜聖徳学園大学短期大学部 准教授
- 〈環境〉 ・ 今村 光章 東海国立大学機構 岐阜大学 教授
- ・ 水谷亜由美 岐阜聖徳学園大学 専任講師
- 〈言葉〉 ・ 奥村 正彦 岐阜女子大学 准教授
- ・ 辻 道代 東海学院大学短期大学部 講師
- 〈表現〉 ・ 西垣 吉之 中部学院大学 教授
- ・ 横井 喜彦 中京学院大学短期大学部 教授
- 〈特別な支援〉 ・ 安田 和夫 岐阜聖徳学園大学 教授
- ・ 杉山 章 東海学院大学 教授
- ・ 鈴木 祥隆 東海国立大学機構 岐阜大学 助教

## 令和5年度 指定市町、協力園・学校

- 〈北方町〉 ・ 北方町立北学園
- ・ 北方町立南学園
- ・ 北方町立こども園
- ・ 北方町立北方北保育園
- ・ 北方町立北方中保育園
- ・ 北方町立北方南保育園
- ・ 敬愛学園北方幼稚園
- 〈神戸町〉 ・ 神戸町立南平野小学校
- ・ 神戸町立南平野幼稚園
- 〈可児市〉 ・ 可児市立東明小学校
- ・ 可児市立瀬田幼稚園
- ・ 可児市立久々利保育園
- ・ トキワ学園トキワ幼稚園
- ・ 村の木清福会認定こども園ひろみ保育園すくすく
- 〈土岐市〉 ・ 土岐市立泉西小学校
- ・ 土岐市立泉西小学校附属幼稚園
- ・ 土岐市立久尻保育園
- 〈飛騨市〉 ・ 飛騨市立古川西小学校
- ・ 飛騨古川さくら保育園



幼保小の架け橋プログラムに関する調査研究事業

教職員向け研修資料

## 架け橋期のぎふっこの学びとくらし

編集発行 岐阜県教育委員会事務局 義務教育課

〒500-8570

岐阜県岐阜市藪田南2丁目1番1号

TEL 058-272-1111 (代表)

FAX 058-278-2817

Eメール c17785@pref.gifu.lg.jp

